

# 若葉台西中だより

横浜市立若葉台西中学校

校長 田中明子

第40号

平成18年12月15日(金)発行

横浜市旭区若葉台四丁目34-1

TEL 921-0281

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadainishi/>

FAX 922-5986

## 3年生の進路選択の時期がやってきました

12月の三者面談は3年生にとっては、義務教育終了後の進路選択について煮詰め、受験先を決定する話し合いの場になりました。すでに何度か進路希望調査がありましたので、その都度家庭で話し合いを重ねてきていると思いますが、いよいよ最終決定となると迷うことや絞りにくいなど悩むことも多いと思います。

本校ではここ数年就職希望者は無く、上級学校を目指す生徒がほとんどといった状況ですが、その上級学校が多様化していますので、選択肢が多くなった分迷いも増えてしまいます。高校が提示している条件や選抜システムの特徴、試験日、手続き日、自分の学力・体力・精神力などを勘案して受験校の希望順位や受験校の組み合わせ方などを決定していかなければなりません。

県立高校では高校改革により学校再編が進み、様々なタイプの高校ができました。また、入試制度改革により、前期選抜と後期選抜でタイプの異なる選抜方法がとられるようになったり、学区が無くなるなどの変更もありましたが、必ずしもねらいと制度がしっくりせず、課題が残されていると思われる。横浜市立高校も学校再編を進めていますが、入試制度改革などは市立独自に進めにくいこともあるようです。私立高校も少子化の中で生徒確保を図るべく共学にしたり、入試制度においても様々な工夫をしています。

いずれにしても、公立私立を問わず積極的に情報(インターネットでの発信も多い)を収集したり、学校見学や説明会に参加して家庭でじっくり検討することが不可欠になります。

## 若葉台中学校への移行準備のお手伝い(ボランティア)のお願い

本校では毎年、PTA役員や委員になられた方以外のPTA会員の皆様にヘルパー登録をしていたり、年に1回以上のPTA活動へのご協力をいただいております。

今回厚かましくお願いするのは、上記のヘルパーとは別に若葉台中学校への移行に伴うお手伝いのボランティアのお願いです。保護者の皆様や卒業生や地域の皆様でご都合がつく方がおられましたら、お手伝いいただけると助かります。

### その1 パソコンによる書籍登録作業

保護者の皆様にはすでに12月6日付けプリントでお願いしましたが、西中の図書館の蔵書を若葉台中の蔵書に移管する作業として、書籍に貼ってあるバーコードを読み込んでパソコンで登録する作業をお願いしたいと思います。西中のバーコードの上に若葉台中のバーコードを貼る作業は、図書委員会の生徒の手で済ませますので、その後の登録作業をお願いしたいのです。

何分蔵書数が多いので、パソコンを4~5台用意しました。できるだけ短期間に集中的にできれば、図書館を閉じる期間も少なくなります。作業自体はパソコンを扱ったことの無い方でも大丈夫なものです。1月16日(火)~1月31日(水)までの平日にご都合のつく時間だけお手伝いください大変ありがたいです。

ご連絡いただいた方には、割振りをした予定表を配布いたします。12月15日締め切りで募集しておりますが、応募者が多くないので締め切り以降でもご連絡ください。

### その2 引越し荷物を西中で段ボールに詰める作業 東中で段ボールから出す作業 掃除等

今回は予告です。詳細はあらためてお知らせします。

引越しは3月28日(水)の予定ですので、3月25日(日)~29日(木)にお手伝いのボランティアを募集することになる見込みです。

## 閉校後の事務処理は若葉台中学校でおこないます

閉校後、若葉台東・西中学校の諸簿冊は規定の期限まで若葉台中学校に移管されます。従って、卒業証明書や成績証明書の交付依頼も、高校中退等による高校入試の再チャレンジのための調査書作成依頼や、教育実習の申し込みなども、すべて若葉台中学校に行ってください。

なお、個人情報に関わることは慎重に取り扱われますので、身分を証明するものを持参して本人が行くようにしてください。作成に時間を要するものもありますから、事前に電話連絡をしてくださるとありがたいです。その他、相談事なども遠慮無く若葉台中学校を頼ってください。

## 若葉台西中学校最後の生徒会役員会が発足しました

12月4日の認証式で4名の新生徒会役員に認証書を渡しました。今回は4月からの学校統合に備え、生徒会の役員体制も特別に規約改正をして、東中西中それぞれ4名ずつ役員が選出されました。

西中の新役員は、生徒会長：飯島結菜さん（2年）、副会長：志賀天音さん（1年）、  
書記：小松菜々子さん（2年）、会計：藤原周一さん（2年）です。

新生徒会には、『友達づくり』と『学校づくり』の二つを念頭において活動してもらいたいと激励したところです。

これに先立ち、前生徒会役員の退任の挨拶がありましたが、それぞれの大役を精一杯やり切った達成感が言葉の端々ににじんでいました。全校規模の活動を企画運営したり、人前できちんと話したり進行役を務めたりしたリーダーとしての経験が身に付いて、実力を増したことが明白な見事な挨拶でした。

前生徒会長：天野あきさん、前副会長：泉 千穂さん、佐藤麗奈さん、  
前書記：重本洋生さん、飯島結菜さん、前会計：北田 凱さん、米崎愛百合さん  
大変ご苦労様でした。

## 生徒の人間関係のトラブルとりわけいじめの問題について

いじめの問題が大きな社会問題になっており、学校や教師の関わり方や、親子関係、大人社会のありよう、子どもを取り巻く環境などが問われています。殊に教師の「助長」「見過ごし」、学校の「対応の遅れ」「放置」「隠蔽」などの報道に接し、私たち学校現場の責任を重く受け止めています。

ご承知のように、今、『子ども時代』が大きく変容してきています。群れて遊んだり、自分たちでルールを作りながら遊んだ経験や自然体験の中で学んだことや、色々な立場の方の声かけや関わりの中で身に付けてきたことがいかに多くあったか、そして重要だったかを痛感させられます。今は成長に欠かせない自己理解、他者理解、相互理解にとって不可欠な日常的なやりとりが不足し、そのことが更に人間関係を希薄化させるという悪循環の中にいると思います。

加えて、意思疎通を図ることや気持ちを伝え合うことが不足した浅い人間関係の中に、機能の長けたツールが介在してきますので、事態は極端に急速に進展してしまいがちです。ケイタイやPCを使ったメール・ネットの掲示板・ブログ・ブログ（プロフィール）・サイトなどが一因となって人間関係上のトラブルにつながるケースも増加しています。

かつての子ども時代のように体と心で実感しながら頭でも理解していったり、その逆ルートで分かっているといった過程を踏まず、直情的に反応するような余裕のない実態があります。

小さな行き違いやトラブルが大きな怒りに増幅されたり、孤立を恐れて判断もそこそこに簡単に同調したり、信頼感に自信が持ちにくい分人間関係に過敏になり、気を遣いながらもなかなか安心感が得られない不安定な状況が見られます。

学校は子どもにとって異質な他者と出会い、時にはぶつかり合った後、折り合いをつけたり、補い合って協力・協働することを学んだり、他者の存在に啓発されたりして、共に高め合い共に育ち合う場と考えております。学校では共感性・自律性を育む取り組みを今後も継続していきます。

### 1月のおもな予定

書き初め展（12～19日） 2年百人一首大会（15日） 市個別支援学級合同学芸会（18日） 1年百人一首大会（22日） 3年公立高校前期選抜・2年職場体験・1年職業講話（26日） 英検（27日）